

令和元年度 事業実績

社会福祉法人 豊岡市社会福祉協議会

目 次

1. 組織運営体制の強化 -----	3
2. 財政基盤・組織経営の強化 -----	4
3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実 -----	5
4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現 -----	16
5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保 -----	17
6. 住民参画による新たな取組の開発 -----	19

豊岡市社会福祉協議会事業活動

1. 地域福祉活動 -----	21
2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習 -----	30
3. 在宅福祉サービス -----	32
4. 法人運営 -----	34
5. 介護保険・障害者サービス -----	40

全国的に少子高齢化、人口減少が進む中で、国では子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」を打ち出しています。

豊岡市社会福祉協議会（以下「豊岡市社協」）は、平成31年3月に策定した『第2次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画』において、豊岡市社協が果たすべき3つの使命に基づいて定めた「組織体制の強化」、「包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実」等の重点項目の年次計画に沿って各取組を進めました。

基本理念である「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」のもと、様々な生きづらさを抱える方を含め、住民がその人らしく役割、生きがいを持って暮らし続けられる地域づくりを地域住民、社会福祉法人、企業、市等と連携・協働して取り組みました。

行政区圏域では、重点的取組である住民の集いの場づくり、地域課題の解決に向けた話し合いの場づくりが広がっており、地区圏域では地域での支え合いの基盤づくりに向け、地域コミュニティ組織の福祉部等と連携して「協議体組織（地域サポート会議）」の設置・運営に取り組み、地域課題の集約化、防災活動の支援等を行いました。

介護ニーズの多様化、サービス事業所の増加等により今後厳しい経営状況が予測される中、中長期的な視点で、安定的な収益の確保に向けて介護サービスの方向性・改善策、地域福祉事業の見直し等を盛り込んだ『豊岡市社会福祉協議会中長期経営計画』について検討を重ね、策定しました。

人材育成においては、各職員が専門性を発揮して住民主体の地域福祉のサポートを行い、住民のその人らしい在宅生活継続の支援を担えるよう、圏域ミーティングや内部・外部研修の充実を図りました。

制度やサービスでは対応できない地域課題について、福祉活動実践者や企業等で構成される善意銀行プロジェクトチームで、多様な視点から求められる取組や、善意銀行について市民へ理解浸透を図り、協力者を増やすことを目的としたPRイベントの検討に取り組みました。

【豊岡市社会福祉協議会 基本理念】

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」

【豊岡市社会福祉協議会 使命】

- 1. 多様なネットワークの構築と住民主体の地域福祉を推進する。**
- 2. 住民がその人らしい豊かな在宅生活を送るための支援を行う。**
- 3. 確固たる組織経営を構築する。**

1. 組織運営体制の強化

豊岡市社協が地域におけるセーフティネットの砦の機能を構築していくためには、キャッチした地域の課題を組織内で共有し、専門性、連携機能を発揮して、課題の解決に取り組む組織運営体制を整えることが重要です。

地域福祉の推進においては旧市町圏域を単位とし、介護サービス事業においては4つの事業圏域を単位として連携体制の強化に取り組みました。

重点的取組の確実な実行に向けて、平成31年4月から課長補佐以上の管理・監督職を対象とした目標管理制度を導入しました。

(1) 住民ニーズ、地域課題の解決に向けた組織内連携の強化

① 地域福祉推進のための組織内協議の場の強化・連携

豊岡市地域福祉計画に位置づけられている2つの基本目標「住民の主体的な地域づくり」、「総合的な相談・支援体制づくり」の確実な推進に向け、支所圏域を軸に地域支援担当職員、相談支援担当職員、介護サービス事業所等の職員が連携して地域の生活課題の共有や地域福祉計画の基本目標達成に向けた圏域行動計画の実践に取り組みました。

具体的には、圏域ミーティングにおいて、各部署の取組や役割、地域の情報を共有する中で、地域で困りごとを抱えた方を地域住民と専門職が協働し支えていく個別支援の視点と、困りごとを抱えた方を見守り・支え合う地域をつくる地域支援の両方の視点を持ちながら各部署が連携し、支援が進められるよう目線合わせに取り組みました。

② 地域支援と個別支援の一体的な推進

地域支援と個別支援の両方の視点を持って活動できる人材の育成に向けて、地域支援担当職員であるコミュニティワーカー、生活支援コーディネーターを対象とした地域福祉課学習会を開催し、支所長、係長、主任の指導力向上と職員の地域支援の専門性を高めました。

実施日…6月25日

内 容…『豊岡市社協職員として地域福祉推進に向けて大切にポイント』の再確認を通じて、地域支援の目的への理解を深める。また、地域をアセスメントする上で必要な視点、地域課題を整理・分析する方法への理解を深める。

(2) 目標管理制度による重点的取組の遂行

基盤強化計画に位置づけた取組を着実に実行していくために、平成31年4月から課長補佐以上の管理・監督職を対象とした目標管理制度を導入しました。

主な項目	進捗状況
○中長期経営計画の策定	・協議回数…経営戦略部会 6 回、在宅福祉部会 2 回 内容…デイサービスセンター等の事業の方向性 ぐるらの経営強化項目 介護人材の育成、地域福祉事業の見直し等
○業務マニュアルの整備・運用	・マニュアルの整備が必要な業務をリストアップし、14の業務についてマニュアルの整備を行い、本所・支所職員で運用を行いました。
○支え合いの地域づくりのための「集いの場」	・集いの場（いきいきサロン、玄さん元気教室）実施 行政区数 年度目標…287 設置数…290
○介護保険事業の利用者の確保	・利用者数目標達成率 ケアプランセンター 94.5% ヘルパーステーション 86.3% デイサービスセンター 95.6% 訪問入浴事業 98.8% 小規模多機能型居宅介護事業 60.6%

（３） 介護サービス事業所の連携体制の整備

今年度 4 つの圏域で実施した管理者会議では、各事業所のサービスの提供状況を共有し、稼働状況に合わせて新規利用者の受け入れに努めました。同時に地域の状況に合わせた事業展開を行うために、意見を出し合い検討を進めることで連携体制を整備しました。

圏域ごとに行うことで共通のケースに関する課題等を共有する事ができるため、支援の方向性やサービス提供に関する改善点について考える取組を進めました。

2. 財政基盤・組織経営の強化

豊岡市社協が安定的に組織経営を継続していくために、介護サービス事業を中心とした将来収支予測と懸案事項の改善に向けた方策等を盛り込んだ中長期経営計画計画（計画期間：令和 2 年度から令和 5 年度）を策定しました。

（１） 安定的な経営に向けた中長期経営計画の策定

中長期経営計画の策定にあたっては、平成 25 年度から続く赤字経営の改善に向けて、高齢者人口の推移や他事業者の動向等を踏まえながら、本会の経営の柱である介護サービス事業の展開を中心に収益の増加に向けて各種方策を盛り込みました。

主な項目

- 市から譲渡、貸付を受けているデイサービスセンターについて、契約期間（30 年間）、建物の返還条件に関する市との折衝
- 地域福祉・生活支援拠点ぐるらんについて、経営改善に向けたチーム支援体制の強化、他事業者の運営方法、取組の参考・導入
- 竹野南デイサービスについて、事業継続、竹野デイサービスへの統合等の検討
- 豊岡西デイサービスについて、小規模多機能型居宅介護施設等への転換の検討
- 豊岡港、但東デイサービスについて、少人数できめ細やかなサービスの提供がより行いやすい地域密着型デイサービスへの移行の検討
- 介護職員初任者研修の開催による非常勤ヘルパー等の介護人材の確保
- 趣旨や内容が同様或いは社会的状況の変化からニーズが少なくなっている地域福祉事業の見直し、他事業との一体化

（２） 介護サービス事業の健全経営に向けた強化・充実

利用者のその人らしい豊かな在宅生活を守りきるために、職員体制の強化、効率的なサービス提供に向けて、令和２年２月末に、日高西ヘルパーステーションを日高ヘルパーステーションと統合し、職員体制の強化を行いました。

日高八代デイサービスセンターは、入浴設備が無く、多くの利用者のニーズに応えることができないことや、建物の老朽化が進んだことで利用者の減少が続いたため、令和２年２月末、日高東デイサービスセンターへの利用者の移行を軸に統廃合を行いました。

介護サービス事業において、確実に採算性が確保できるよう事業所ごとに利用者数、収益の月次目標を設定し、月次で達成状況の確認、評価、課題の整理を行い、業務の効率化や改善に向けて取り組みました。

３． 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実

地域におけるセーフティネットの砦の機能の構築には、行政区圏域、地区圏域、旧市町圏域、市圏域それぞれの圏域における課題解決のネットワークの基盤づくりが軸となってきます。行政区圏域における住民同士の日常的な見守り、地区圏域における協議体（地域サポート会議）を中心とした地域課題について取り組みました。

目まぐるしい社会変化の中で複雑化する様々な相談に対して、総合相談センターを中心に地域の身近な相談窓口として関係機関と連携して、地域住民の様々な課題の解決に向けた支援に取り組みました。

豊岡市社会福祉法人連絡協議会は発足２年目を迎え、同協議会の役割・機能の明確化について本格的な検討に取り組みました。

(1) 多様なネットワークによる住民ニーズ・地域課題の把握、社会資源開発の検討

①「集いの場」づくりの推進

住民が主体となって地域づくりを進めていく最初のステップである「集いの場（いきいきサロン、玄さん元気教室等）」づくりを重点的取組として、コミュニティワーカーを中心にその立ち上げ、活動の定着支援を行いました。

【いきいきサロン開催地域コミュニティ組織の状況】

		設置数		設置率	
地域	地区数	H31.3月末	R2. 3月末	H31.3月末	R2. 3月末
豊岡	10	8	8	80%	80%
城崎	1	1	1	100%	100%
竹野	3	2	3	66%	100%
日高	6	4	4	66%	66%
出石	6	5	5	83%	83%
但東	3	3	3	100%	100%
合計	29	23	24	79%	82%

【いきいきサロン開催行政区の状況】

		設置数		設置率	
地域	行政区数	H31.3月末	R2. 3月末	H31.3月末	R2. 3月末
豊岡	123	88	95	71%	77%
城崎	31	13	17	41%	54%
竹野	42	28	27	66%	64%
日高	70	54	58	77%	82%
出石	51	39	43	76%	84%
但東	42	30	33	71%	78%
合計	359	252	273	70%	76%

【いきいきサロン助成先内訳】

(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
地域コミュニティ組織	8	1	3	4	5	3	24
行政区	94	15	27	53	43	32	264

※地域コミュニティ組織への助成金…4万円

【行政区圏域のサロン助成件数】

助成金額:1年目…5万円 2年目…2万円 3年目…5万円

4～6年目…3万円 7年目以降…2万円

(3年目～6年目のサロンは経過措置期間。現行規程では2万円)

(単位:件)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目以降	合計
平成30年度	50	11	24	12	14	13	112	236
令和元年度	26	49	10	23	12	14	130	264

② エリア階層別の課題解決・サポート体制の構築・推進

豊岡市地域福祉計画において、エリア階層別の課題解決・サポート体制の構築を位置づけ、地域における住民主体の課題解決や包括的な相談支援体制を推進することを掲げています。

あらゆる地域課題の解決に向けて、エリア階層を4つ（行政区圏域、地区圏域、旧市町圏域、市圏域）に設定し、それぞれの階層における課題解決のためのネットワーク（協議の場等）の構築に住民、市、福祉分野の各種専門機関等と取り組みました。

【各階層の課題解決・サポート体制の実施状況】

階層	実施状況
行政区圏域	○話し合いの場（見守り会議、福祉委員会）づくりの推進 ・ひとり暮らし高齢者等サポートが必要な方への見守りや住民同士の支え合い、地域の生活課題の解決に向けて協議する「話し合いの場」の立ち上げや継続の支援を行いました。 ・職員が話し合いの場に参加し、支え合いマップ等により地域課題の見える化や整理を行い、解決方法の検討や支援を必要とする方を専門機関につなぎました。 設置行政区数…182（令和2年3月末現在）
地区圏域	○協議体（地域サポート会議）設置の推進 ・生活支援コーディネーターが地域コミュニティ組織の福祉部等へ参画し、『協議体（地域サポート会議）』の設置に向けた働きかけを行いました。 ・設置後も定期的な話し合いを通じて、地域課題を整理し、解決に向けた取組の検討、地域の人材育成の取組等のサポートを継続して行い、地区圏域における住民、事業所等のネットワークづくり、支え合いの地域づくりを進めました。
旧市町圏域	○地域福祉推進委員会の推進 ・各支所単位で区長、民生委員、福祉委員、地域福祉活動者等を委員とした地域福祉推進委員会を隔月で実施しました。 ・支え合いの地域づくりに向けて、それぞれの地域活動の取組状況を共有し、集いの場や話し合いの場を推進する中で見えてきた課題の整理を行い、解決方法の検討等を行いました。また、話し合ったことを、それぞれの活動の場にフィードバックする機会としました。

市圏域	○地域福祉部会の推進 ・旧市町圏域の地域福祉推進委員会の代表を委員とする地域福祉部会を年3回開催。各推進委員会と連携し、地域課題の整理、解決方法の検討を行いました。
	○専門職による協議の場づくりの推進 ・総合相談支援ネットワーク推進協議会、障害者自立支援協議会の事務局を担い、市や福祉関係機関等と連携し協議の場づくりを行いました。 ・生活困窮、障がい者等の個別支援を通じて見えてきた課題を普遍化し、課題解決のためのネットワークづくりや取組の検討を行い、企業等への働きかけを行いました（生活困窮世帯への緊急食料支援や就労体験における企業の協力、障がい者の地域移行に向けた不動産業者との連携等）。

【支え合いの地域づくり活動助成件数】

行政区圏域の課題解決の支援として、地域内の支援を必要とする住民の孤立を防ぐ見守り、支え合い活動を推進することを目的に活動する行政区に2万円を上限として活動助成を行いました。

(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
平成30年度	113	2	12	23	21	4	175
令和元年度	112	9	16	29	27	7	200

【協議体（地域サポート会議）設置】 設置数…14カ所が設置に同意

設置年	地域名	地区名	協議体の団体名
平成30年度	豊岡	中筋	コミュニティなかすじ まごころ部
		神美	神美コミュニティ 福祉部
	城崎	城崎	コミュニティ城崎 安心のつながり部
	竹野	中竹野	中竹野コミュニティ 暮らし部会
	出石	弘道	弘道コミュニティ 安心づくり部
		菅谷	はにの里菅谷協議会 福祉部会
		寺坂	床尾の里てらさか ささえあい部会
	但東	資母	資母まちづくり協議会 暮らしづくり部
		合橋	コミュニティあいはし 生活支援部
		高橋	①高橋振興対策協議会 ささえあい部 ②いこいの杜 地域サポート推進会議
令和元年度	豊岡	新田	コミュニティ新田 ふくし部会
	竹野	竹野南	NPO 法人わいわいみ・な・み

			(竹野南地区コミュニティわいわいみ・な・み)
	日 高	日高	日高地区コミュニティ きらめき日高
	出 石	福住	福住ふれあい協議会 生活環境部

【協議体（地域サポート会議）の主な活動状況（代表的な取組）】

地区	活動状況
中筋	・ 地区内9行政区で実施した「日常生活見守り助け合いマップ」から見えた地域課題と地区で実施されたアンケートをもとに、まごころ部（協議体）で実施されたワークショップでのファシリテート、取りまとめ等に向けた支援（可視化、意見集約等）を行いました。 ・ 地域づくり計画の策定にあたり、まごころ部（協議体）の目標が設定され、具体的な目標のもとに協議体の運営支援を行うきっかけづくりとなっています。
城崎	・ 毎月の安心のつながり部会の中で、協議体として地域課題の把握や取組等を進めていくために、令和元年9月から身近な課題に対する勉強会と話し合い（例・高齢者問題→地域包括支援センターの役割について）を行うようになり、生活支援コーディネーターが勉強会・話し合いを支援する中で、地域課題に対する今後の取組み等について協議を進めるようになりました。

③ 豊岡市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネットとよおか）への参画

平成30年9月、市内全社会福祉法人（23法人25施設）が参画し、豊岡市社会福祉法人連絡協議会（通称：ほっとかへんネットとよおか、以下「連絡協議会」）が設立されました。設立にあたっては、各法人の理事長、施設長を中心に連絡協議会の役割、運営方法等の検討を行いました。

連絡協議会設立の役割は、制度では解決できない少子高齢化、地域のつながりの希薄化、社会的孤立等の地域課題をそれぞれの法人が持っている機能を活かし、連携を図りながら解決に取り組むことにあります。

連絡協議会設立2年目の令和元年度は、地域課題に直接的に取り組んでいる相談員等の実務者を中心とした実務担当者会議において、具体的な連絡協議会のめざす姿、実践する取組について検討を始めました。

開催日 会議	参加者	内容
4月17日 平成31年度総会	19法人 37名	○講演：「社会福祉法人が継続してミッションをはたしていくために」 講師：谷村 誠 氏（社会福祉法人みかり会 理事長） ○平成30年度事業報告・会計決算

		○平成 31 年度事業計画（案）・会計予算（案） 等
6 月 28 日 第 1 回実務担当者会議	17 法人 30 名	○説明：「豊岡市社会福祉法人連絡協議会の目的・役割について」 ○グループワーク ・各法人の地域貢献活動 ・実務担当者会議をどんなふうにしたいか ・豊岡市社会福祉法人連絡協議会でできたらいい取組
8 月 29 日 第 2 回実務担当者会議	20 法人 30 名	○説明：「社会福祉法人連絡協議会設立の趣旨」、「他の社会福祉法人連絡協議会の取組の紹介」 ○グループワーク ・すぐに実践する取組について ・豊岡市社会福祉法人連絡協議会のめざす姿について

（２） 福祉委員活動の強化

福祉委員が区長、民生委員、民生・児童協力委員等と連携した見守り・支え合い活動をすすめる、話し合いの場（福祉委員会・見守り会議等）に参加し、役割を発揮できるよう、コミュニティワーカーを中心に働きかけを行いました。

区長、民生委員等との合同研修会を通じた福祉委員の役割の浸透、行政区内での連携体制の強化を図りました。

【福祉委員委嘱数】（令和2年3月末現在）

（単位：人）

豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	合計
154	31	42	70	51	52	400

【福祉委員研修会開催状況】

地域	開催日 参加者数	内 容
城崎	5 月 30 日 18 人	○福祉委員活動について ○事例学習 老老介護でごみ屋敷状態になっている事例を通して本人・地域住民の立場に立って考え、グループワークで自分では気づかなかった考え方に気づくことを目的としました。
	10 月 29 日 15 人 10 月 30 日 21 人 11 月 13 日 19 人	【区長・民生委員・民生協力委員・福祉委員の合同研修会】 ○「認知症サポーター養成講座」 地域課題「認知症支援」の具体的取組として、区内に一人でも多くの理解者を増やし、早期発見・早期対応を目的に「認知症サポーター養成講座」を実施。 ・認知症の理解 ・認知症の接し方（寸劇）

		・認知症予防 ・意見交換
竹野	6月 27 日 25 人	○福祉委員活動について ○グループワーク ・地域課題、困りごとについて ・解決方法、取組について
日高	7月 11 日 64 人	○福祉委員活動について ○講演:「高齢者の消費トラブルを防ぐために」 講師:たじま法律事務所 ○日高地域包括支援センターからの事業説明
出石	5月 28 日 46 人	○福祉委員活動について ○支え合いの地域づくり活動の理解 ○実践発表:「下谷区福祉委員会の取組」
	9月 19 日 36 人	【区長・民生委員・福祉委員の合同研修会】 ○安心安全な地域づくり(連携と協働)の理解 ○福祉委員の活動と民生児童委員の活動の相違 ○支え合いの地域づくり活動についてグループワーク (寸劇を見て自身の区をそれぞれの立場で考えディスカッション)
	9月 25 日 28 人	
	9月 30 日 35 人	
但東	7月 5 日 37 人	○福祉委員意識調査アンケート ○福祉委員活動について ○サロン紹介 実践発表「日和坂わいわいサロン」 ○福祉委員の役割について
	7月 19 日 37 人	【資母地区福祉連絡会(区長・民生委員・福祉委員合同研修会)】 ○取組紹介 ・資母まちづくり協議会暮らしづくり部会 ・畑山区福祉委員会 ・坂津区住民交流拠点づくり ○支え合いの地域づくりについて ○情報交換(グループワーク) 「区内の連携を更に深めるためには…」
	9月 24 日 23 人	【合橋地区福祉連絡会(区長・民生委員・福祉委員合同研修会)】 ○取組紹介 ・コミュニティあいはし生活支援部会 ～ひとり暮らし交流会について～ ・コミュニティあいはし生活支援部会の活動協力依頼 ○支え合いの地域づくりについて ○寸劇:「つぶやきから広がる区内のつながり」 ○情報交換(グループワーク) ・昨年度の振り返り

		・昨年度のまとめから「新たにできている見守り」 ○「区内の連携を更に深めるためには…」
	10月3日 15人	【高橋地区福祉連絡会(区長・民生委員・福祉委員合同研修会)】 ○取組紹介 ・高橋振興対策協議会 ささえあい部 ○支え合いの地域づくりについて ○寸劇:「つぶやきから広がる区内のつながり」 ○情報交換(グループワーク) ・昨年度の振り返り ・昨年度のまとめから「新たにできている見守り」 ・「区内の連携を更に深めるためには…」

※豊岡地域については、例年3月に開催しているが、令和2年4月に新しい福祉委員の任期が始まることにあわせて5月に開催する予定としました(新型コロナウイルス感染拡大予防のため7月以降に延期)。

(3) 地域福祉フォーラムの開催

第2回目の開催となった今回は、「キラリと光る住民の力」と題して、出石高等学校書道部の部員や日高高等学校の生徒を始め、企業等の多くの協力のもと、市内で行われている地域福祉活動を通じた「住民の皆さんの力」にスポットをあて、地域福祉活動の素晴らしさや大切さを学び、支え合いの地域づくりを進めるために、自分に何ができるのかを考える機会となるよう開催しました。

開催日…令和元年12月7日

参加人数…約270人(区長、民生委員、地域福祉活動者等)

内容…○基調講演『「地域」×「出番」×「居場所」＝地域共生社会を実現しよう』

講師:同志社大学社会学部 教授 永田祐氏

○実践発表

「つどいの場から広がった拠点づくり活動」 但東地域坂津区 小谷博幸氏

「40代区長、2年間の地域福祉活動への挑戦」 豊岡地域九日市上町区 坂本光男氏

座長:島根大学教育学部共生社会教育専攻 教授 作野広和氏

(4) 総合的な相談支援事業の推進

総合相談センター(総合相談・生活支援センター、障害者基幹相談支援センター、各地域包括支援センター)を中心に、高齢者、障がい者、ひきこもり、経済的困窮、制度の狭間にある住民や複合的な課題のある世帯等への支援に向けて、地域を基盤とした相談支援を地域住民、関係機関・団体等との連携・協働により取り組みました。

① 総合相談・生活支援センター業務の推進

制度の狭間や複合的な課題を抱えている生活困窮者に対して、市や関係機関、地域住民、企業等との包括的な支援体制づくりに取り組みました。

ア. 総合相談支援チーム会議

「チームアプローチ」を年間テーマとして、市(健康福祉部各課、税務課、生活環境

課、水道課等）と豊岡市社協の顔の見える関係づくり、各種制度の情報共有を行うとともに、相談援助方法やチームアプローチによる支援方法等を学びました。

開催日	内 容
5 月 30 日	「各機関・部署の情報共有及び支援にも役立つ制度を学ぶ」 生活福祉資金、生活保護、障害福祉、税減免等
8 月 8 日	「相談援助の基本を学ぶ」 講師：兵庫県対人援助研究所主宰 稲松真人氏
11 月 29 日	「子どもの貧困からチームアプローチを考える」 講師：大谷大学社会学部准教授 中野加奈子氏
2 月 14 日	「チームアプローチ実践報告」

イ. 就労体験活動の実施

働くことに自信が持てず、長年仕事に就けていない人や、人間関係が苦手な就職に至らない人の就労体験受入先企業等（新聞販売店、加工製造販売等）の開拓に取り組みました。

そのうち、新聞販売店からの請負として、定期的なポスティング資材の封入作業につながりました。

ウ. soto-café の実施

ひきこもりがちな稼働年齢層の方の居場所づくりとして『soto-café』を月 1 回、豊岡地区コミュニティセンターで実施し、食事づくり、保存食づくり、会場周辺の除草作業、内職作業等を通じてコミュニケーションを図り、社会との接点を取り戻すことで自己肯定感を高め、定期的に外出できるようになった、就職に結びついた方もあるなど成果がありました。

エ. 緊急食料支援

緊急食料支援事業に使用する食料の寄付に個人、企業、福祉事業所等から協力をいただきました。そのうち、生活協同組合コープこうべから、消費期限が近くなった生鮮食品の提供や、自社で取り組まれている『フードドライブ（家庭にある余剰食材の持ち寄り活動）』を通じた寄付により、企業との連携で生活困窮者の支援に取り組みました。

食料寄付件数…76 件

食料支援件数…32 件

【緊急食料支援のニーズキャッチ機関】

（単位：件数）

機関・部署	平成 30 年度	令和元年度
市社会福祉課	4	5
市健康増進課	1	1

市振興局	2	1
社協本所	2	1
社協支所	1	2
ハローワーク	1	0
地域住民	2	0
地域包括支援センター	0	1
総合相談・生活支援センター	16	21
合 計	29	32

② 地域包括支援センター業務の推進

介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進する中核的機関として、高齢者の総合相談支援、権利擁護支援、介護予防支援、認知症相談支援等を行いました。

ア. 認知症の方を支える地域づくり

認知症初期集中支援推進事業により、医師や専門職による支援チームを設置し、認知症やその疑いのある方に早期に関わり、適切な医療・介護・地域の見守りにつなげる取組をすすめました。

行政区や地域コミュニティ組織等で多世代にわたり認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の方を支える地域づくりに取り組みました。

【認知症サポーター養成講座開催回数】 (単位:回数)

豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
5	6	3	0	14

イ. 権利擁護支援

虐待の早期発見と迅速な対応を行うため当事者、家族、事業所等からの通報を受け、必要に応じて在宅サービスの導入調整や施設入所への対応を行いました。

【虐待対応件数】 (単位:件)

前年度からの継続	通報(内虐待認定)	虐待件数	終結	対応継続
15	36(28)	43	26	17

ウ. ケアマネジャーへの支援

ケアマネジャーが効果的に業務を行えるように、月1回、介護支援専門員連絡会を開催し、最新の情報発信を行うとともに、関係機関と連携できる場を持ちました。また月1回、自立支援型ケア会議を開催し、本人の望む生活の実現に向けたケアプランが作成できるよう、介護支援専門員の資質向上を図りました。

【ケアマネジャーへの支援回数】

(単位:回)

	ケース 検討会議	同行訪問	個別相談 情報提供	サービス 担当者会議	合計
豊岡	60	193	1,254	56	1,563
城崎・竹野	5	52	122	5	184
日高	61	60	403	19	543
出石・但東	14	80	70	27	191
合計	140	385	1,849	107	2,481

③ 障害者基幹相談支援センター業務の推進

障害のある方やその家族の総合相談窓口として、生活の中の様々な困りごとを受け止め、課題解決に向けた必要な情報の提供や福祉サービスの利用支援、就労支援、社会参加の機会づくり等の援助を、市や関係機関、地域住民との連携・協働のもと行いました。

ア. 地域の相談支援事業所への支援者支援

地域の中核的な相談支援機関として、各障害者相談支援事業所が抱える困難ケースをバックアップし、解決に向けた支援や相談員の人材育成を担う支援者支援に取り組みました。

【地域の相談支援事業所に対する訪問等による支援】

(単位:人/回)

	相談支援 事業所	利用者 実人数	支援方法					計
			支援 会議	電話	来所	同行	その 他	
H30 年度	6事業所	24	6	15	4	42	31	98
R元年度	9事業所	32	15	25	12	37	23	112

イ. 障害者虐待防止にかかる業務の推進

障害者虐待防止センターの役割を担い、24 時間での障害者虐待通報の受理、市や関係機関と連携のもと解決に向けた支援等を行いました。併せて障害者虐待防止の啓発活動を障害者福祉施設職員研修会等で行いました。

【虐待受理実件数】

(単位:件)

平成 30 年度	令和元年度
7	6

ウ. 障害者自立支援協議会の運営

障がいのある方が地域で安心して暮らせる仕組みづくり・地域づくりすすめるための協議の場である運営会議の事務局を担い、市や障害福祉関係機関との協議の場の運営を

行いました。その協議を通じて整理した地域課題の一つである障害者支援を担うヘルパー不足と専門性向上の課題から、運営会議においてヘルパー研修を主催し、障害に関する知識と理解を深め、人材育成を図りました。また、家族の交流機会の不足、住居や就労の課題等について協議する各部会の連絡調整を行い、課題解決に向けた取組みを市や関係機関等と連携を図りながら取組みをすすめました。

(5) 社協セーフティネット機能の充実・強化

本所及び各支所が実施している資金貸付事業（生活福祉資金、法外援護資金）によりキャッチした生活困窮世帯（障がい者世帯、高齢者世帯等）の相談を丁寧を受け止め、貸付だけの対応ではなく、生活全般の課題解決に向け、総合相談センターの各部署につなぎ連携した支援に取り組みました。

平成 31 年 4 月から従来の法外援護資金貸付事業に新たに「緊急少額資金」の貸付制度を設けました。「緊急少額資金」は、電気・ガス・水道等のライフラインが停止する恐れがある場合や受診の必要等により緊急的に資金が必要な住民に 10,000 円を上限に貸付を行うものであり、これらの資金の貸付後も生活再建に向け、日常的な家計管理、社会参加の場へつなぐ支援に取り組みました（貸付件数… 7 件）。

資金貸付事業をニーズキャッチおよび支援の入口と捉えて運用し、豊岡市社協内の各部署、市、関係機関と連携した支援につなげました。

4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現

地域において、利用者がその人らしく豊かな生活が送れるように、単に決められた介護サービスの提供だけでなく、個々のニーズを拾い上げ、柔軟な対応に取り組みました。

(1) 地域福祉・生活支援拠点の充実

地域福祉・生活支援拠点ぐるらんでは、利用者の在宅生活の継続に向けて訪問・通い・宿泊サービスの提供に取り組みました。

開設 2 年目となり、畑づくりや市一斉防災訓練による区公民館への避難等、継続的に地域住民との交流に取り組みました。

利用者との何気ない会話の中から、やりたいことやちょっとした夢を聞き出し、家族、地域住民等の協力のもと、実現に向けて働きかける『夢を叶えるプロジェクト』を始動。数名の利用者のやりたかったことやちょっとした夢を実現することができ、地域福祉・生活支援拠点としての機能を発揮することができました。

主な地域交流活動

- ・地域住民、ボランティアとの協働による夏祭り
- ・介護者のつどい
- ・住民講師による折り紙教室
- ・保育園との定期交流（来所、訪問）

（２）総合的な相談・支援体制づくりに向けた障害者相談支援事業の拡充

従来の豊岡、豊岡北、日高ケアプランセンターに加え、平成 31 年 4 月から新たに出石・但東ケアプランセンターが障害者相談支援事業（指定特定相談支援事業）の指定を受け、障がいのある方への相談機能を設けました。

全市的に相談支援専門員を配置することにより、迅速な障害福祉サービスの利用に向けた調整や様々な生活の相談対応、支援が行えました。障害福祉と介護保険の両分野を一体的に担うことで、制度が変わっても相談支援事業所の変更といった手続きが生じず、総合的な相談・支援体制の構築につながりました。

５． 様々な地域課題に対応する人材育成と確保

豊岡市社協が地域福祉活動を推進する組織として、求められる職員像を具現化していくために人事管理制度に重点を置いて、役割に基づいた業務の遂行、フィードバック面接等を通じた人材育成に取り組みました。

また、職種・役職に応じた内部・外部研修により職員の資質向上を図りました。

（１） 人事管理制度を通じた人材育成

平成 30 年 4 月から導入した新人事管理制度により職員の人事の基軸を勤続年数から等級と職種による役割に改め、役割に基づいた業務の遂行、業務実績に基づいた評価の実施に取り組みました。

上司が職員の日々の業務活動実績と意欲態度に基づいて評価を行い、最終的に人事審査委員会で半期ごとの成績に基づいて年間成績を確定し、正規職員については、令和元年度から前年度の年間成績により給料の更改額（従来の昇給額）を確定させました。また、半期ごとの成績は評価反映原資として令和元年 6 月から賞与の一部に反映されました。

フィードバック面接を通じて、上司から各職員へ成績と良かった点、改善点を伝え、今後の業務への取り組み方等について話し合いを行いました。

評価にあたっては、考課者（上司）によって評価基準にばらつきがないように、評価の質向上を目的に考課者訓練を実施しました（毎年度実施予定）。

（２） 計画的な研修体系の構築・実践、業務内容への反映

職員の資質や能力の向上を目的に、役割等級・職種に基づいた組織内部・外部研修を体系的に実施しており、研修内容が各職員の所属部署・事業所内で共有され、業務内容に反映されるよう研修内容の報告の徹底を図りました。

職員の職務遂行能力向上並びに資質向上を図るために、一層資格取得が進むよう資格取得経費助成要綱を改正し、資格取得に係るスクーリングや受験経費への助成額の増額、社会福祉主事任用資格や介護福祉士実務者研修等に係る経費も新たに助成の対象としました。

【職員内部研修実施状況】

研修名	講師	対象者	人数(人)
新任職員研修	事務局長、事務局次長 地域福祉課課長補佐 地域福祉課生活支援係主任	新任の正規職員、 嘱託職員	9
救急救命講習（普通救命講習）	豊岡消防署日高分署 救急救命士	希望者	28
ファシリテーション研修	株式会社ひとまち 代表 ちょんせいこ氏	中堅職員、監督職、 希望者	20
労務管理事務研修	企画総務課職員	希望者	26
指導力向上研修	こころ元気研究所 所長 鎌田敏氏	副主任以上	32
コミュニケーション研修	ひょうご仕事と生活センター 山本伸子氏	1 等級、2 等級、 希望者	34
財務諸表の見方研修（初級編）	西村税理士事務所 渡邊浩貴氏	希望者	7
財務諸表の見方研修（中級・ 上級編）	西村税理士事務所 渡邊浩貴氏	監督職、管理職、 希望者	12
リスクマネジメント研修	株式会社福祉リスクマネジメ ント研究所長、びわこ学院大学 教授 烏野猛氏	中堅職員、監督職、 管理職、希望者	31
メンタルヘルスセルフケア研 修	一般社団法人日本産業カウ ンセラー協会関西支部 カウンセラー 森田江里子氏	0 等級、希望者	17
コンプライアンス研修	介護労働安定センター兵庫 三輪五月氏 在宅福祉課職員	介護職員（正規・ 嘱託・非常勤・非 常勤ヘルパー）	25
タイムマネジメント研修	ひょうご仕事と生活センター 外部相談員 井原準哉氏	1 等級、2 等級、 希望者	17
認知症研修	介護労働安定センター兵庫 三輪五月氏	希望者	30
人権教育研修	NPO 法人全国こども食堂支援セ ンター・むすびえ理事長 湯浅誠氏	希望者	47
交通事故撲滅研修	豊岡南警察署 交通課 竹下昭 警部補 企画総務課職員	事故経験職員、 希望者	25

地域福祉研修	地域福祉課職員 地域包括支援センター職員	1 等級、2 等級、 希望者	18
役割認識研修	各部署・事業所職員	入職 2 年目の職員	10
内定者入職前研修	若手職員 5 名	令和 2 年度に入職 する職員	2

【令和元年度 主な資格取得状況】

社会福祉士 1 人

介護福祉士 3 人

6. 住民参画による新たな取組の開発

既存の制度やサービスでは解決できない地域課題の解決に向けて、ひきこもりや児童分野等の相談員、企業、子育て世代といった多様なメンバーで構成される善意銀行プロジェクトチームで既存の制度やサービスでは対応できない地域課題について善意銀行の有効活用を含めて検討を行いました。

（１）善意銀行プロジェクトチーム

善意銀行プロジェクトチームでは、特定の分野の人たちだけの生活課題へ対応するのではなく、高齢者、障がい者、子育て世代、ひきこもり等、多様な分野の方たちが抱える生きづらさの元を断ち、隔たりなく共生して暮らせる地域づくりを軸に置いて取組を検討しました。

一方で、善意銀行やその使い途について市民に十分発信できていないこと等により、近年、預託金が減少している問題もあることから、まずは善意銀行について市民へ理解浸透を図り、協力者を増やすことを目的としたPRイベントを令和2年度に開催することで方向性を決めました。

（２）善意銀行預託状況・活用状況

【善意銀行預託状況】

	預託件数	金額
平成 30 年度	291 件	10,822,950 円
令和元年度	244 件	8,074,840 円
比 較	△47 件	△2,748,110 円

【善意銀行の主な活用状況】

事業	内容	件数
子どもの事故防止事業 (新入学児童ランドセルカバー贈呈)	小学校新入学児童へ交通事故防止の安全対策として、ランドセルカバーを贈呈 初めての取組として、コープ共済と共同でデザインを作成しました。	750
火事見舞金	火災により住宅を全焼又は半焼した世帯へ 30,000 円の見舞金を支給	2
新入学児童・生徒制服購入助成	新入学児童・生徒のいる要保護世帯に対して、制服やランドセル等の購入費用を新入学準備祝い金として助成 小学生 15,000 円 中学生 20,000 円	15
地域活動支援センター 施設整備助成	地域活動支援センターが事業に使用する車両、備品購入費の一部を助成し、安定的な運営を支援	3
但馬地区里親会へ助成	但馬地区里親会の活動支援として賛助金を助成	1
青少年非行防止事業 (事務局:豊岡保護区保護司会)	コミュニティセンター、健康福祉センター等の公共施設へ掲示する啓発活動のための標語パネル費用の一部補助	1
地域住民交流拠点づくり活動助成	空き店舗、空き家などを活用し、多様な住民(子ども、子育て世代、働く世代、障がいを抱える方など)が集う毎日型の「住民交流拠点」の設置や運営に係る経費を助成	3
ひとり暮らし高齢者等 除雪お手伝い事業	ひとり暮らしで本人では除雪が困難な高齢者等の家周りの除雪に係る費用の一部を助成	2

豊岡市社会福祉協議会事業活動

1. 地域福祉活動

1-1 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を送ることができるよう介護予防サービスをはじめ、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行いました。

相談件数【重複あり】

(単位:件)

事業所	年度	介護相談	総合事業	介護予防	介護給付	入退所・院	高齢者福祉	障がい者福祉	保健・医療	権利擁護	認知症に関する事	経済	その他	合計
豊岡	H30	1,406	2,313	3,568	432	418	2,154	177	1,156	337	887	211	386	13,445
	R1	1,495	2,005	3,867	331	319	3,317	181	955	530	573	162	426	14,161
城崎・竹野	H30	304	798	1,915	171	99	686	56	411	69	113	156	240	5,018
	R1	236	547	1,911	183	117	789	47	385	110	83	74	160	4,642
日高	H30	316	1,912	2,455	554	423	633	142	169	137	128	45	53	6,967
	R1	449	1,870	2,132	417	306	523	102	433	289	166	69	39	6,795
出石・但東	H30	759	1,024	1,977	159	292	633	22	151	295	89	53	298	5,752
	R1	403	1,376	1,811	146	312	1,012	35	254	226	48	84	241	5,948
合計	H30	2,785	6,047	9,915	1,316	1,232	4,106	397	1,887	838	1,217	465	977	31,182
	R1	2,583	5,798	9,721	1,077	1,054	5,641	365	2,027	1,155	870	389	866	31,546

ケアプラン作成件数(予防給付・総合事業・支え合い・からだ元気塾・委託件数含む) (単位:件)

	豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
平成 30 年度	6,331	2,570	2,737	3,274	14,912
令和元年度	6,624	2,734	3,061	3,675	16,094

1-2 障害者基幹相談支援センター

障がいのある方の総合的・専門的な相談の実施に加え、地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な支援や人材育成、障がいのある方の地域課題に対しての取組、豊岡市障害者自立支援協議会の運営等、関係サービス事業所と連携を図りながら総合的な支援に取り組みました。障がい者虐待については、早期発見と迅速な対応を行うため通報、届出受理(電話、ファックス、メール等 24 時間受付)を行うと共に再発防止の観点から虐待後の支援も行いました。

①計画相談支援

障害福祉サービスを利用する際に必要なサービス計画書の作成や関係機関との連絡調整

計画相談支援実人数(令和2年3月末現在) (単位:人)

	障がい者	障がい児	合 計
平成 30 年度	223	58	281
令和元年度	199	51	250

②一般相談

計画相談には至らないが、何らかの支援を必要とする方への支援

一般相談者実人数(令和2年3月末現在) (単位:人)

	相談者実数 (うち新規相談者)
平成 30 年度	96 (42)
令和元年度	147 (40)

一般相談件数【重複あり】

(単位:件)

	制度 利用	障害・ 病状の 理解	健康 医療	不安 解消	保育 教育	家族・ 人間関 係	家計 経済	生活 技術	就労	社会 参加	その 他	合計
H30	396	33	164	164	8	32	161	58	217	19	227	1,479
R1	620	54	163	103	24	10	96	82	179	37	134	1,502

1-3 総合相談・生活支援センター

生活に困窮している、または生きづらさを抱えた相談者の話をじっくりと聴き、相談者の気持ちに寄り添い、意欲の回復や自信を取り戻す支援を市・関係機関・地域住民・企業等と連携しながら、「経済的自立」「日常生活自立」「社会生活自立」に向けて取り組みました。

新規相談受付件数 (単位:件)

平成 30 年度	令和元年度
112	102

相談件数【重複あり】

(単位:件)

	病気 障害	住まい	収入 生活費	家賃 ローン支払	税金、 公共料金 支払	債務	仕事探し 就職	仕事上の 不安、トラ ブル
H30	64	25	94	23	42	35	46	21
R1	61	19	91	37	46	27	47	14
	地域と の関係	家族関係 人間関係	子育て 介護	ひきこも り、不登 校	DV 虐待	食べるも のが無い	その他	合計
H30	4	35	23	11	3	22	10	458
R1	2	23	26	11	3	18	9	434

(単位:件)

	平成 30 年度	令和元年度
自立支援プラン作成件数	27	43
就職へつながった件数	29	21

1-4 日常生活自立支援事業

判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理について、行政、障害者相談支援事業所、居宅介護支援事業所等の関係機関・団体と連携を図りながら支援を行いました。

平成 30 年度までは香美町、新温泉町とも豊岡市社協の担当地域として業務を担っていましたが、平成 31 年4月から兵庫県社協が両町の社協に業務委託することとなりました。

契約数(令和2年3月末現在)

(単位:件)

	豊岡市	香美町	新温泉町	合計
平成 30 年度	70	24	1	95
令和元年度	76	—	—	76

事業の取組状況(問い合わせ・相談援助)

(単位:件)

	福祉サービス利用 援助事業に 関して	成年後見制度 に関して	その他	合計
平成 30 年度	3,942	18	1,505	5,465
令和元年度	3,942	62	1,010	5,014

1-5 生活福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等が抱える制度の狭間や複合的な課題に対して、資金の貸し付けを行いました。

資 金 種 類	平成 30 年度		令和元年度	
	件数	貸付金額(円)	件数	貸付金額(円)
福祉資金	1	456,000	0	0
教育支援資金	3	7,267,200	1	435,000
総合支援資金	0	0	0	0
緊急小口資金	5	258,000	5	275,000
緊急小口資金 (新型コロナウイルス特例貸付)	—	—	1	200,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0

相談件数 (単位:件)

平成 30 年度	令和元年度
291	373

1-6 法外援護資金

低所得世帯に対して5万円を限度額として(特別な事情がある場合は10万円まで可)法外援護資金を貸し出すことにより、生活の自立を促しました。(貸付期間1年以内)

公共料金の未払いにより電気・ガス・水道等のライフラインが停止する状況や、医療費の支払い等緊急性かつ必要性が高いケースに対し、保証人設定の不要な緊急少額資金を平成31年4月からスタートしました。(貸付期間6カ月)

法外援護資金貸付状況

	平成 30 年度	令和元年度
貸付件数	7件	4件
貸付金額	350,000 円	159,000 円

緊急少額資金貸付状況

	令和元年度
貸付件数	7 件
貸付金額	77,320 円

1-7 心配ごと相談

誰もが安心して自分らしい生活が送れるよう、住民が抱える・福祉・生計・住宅など多岐にわたるさまざまな悩みについて職員が相談に応じ、解決のための助言や各関係機関につなげました。

相談件数 (単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
平成 30 年度	40	6	2	12	3	0	63
令和元年度	28	6	2	12	3	1	52

1-8 結婚相談

結婚を望んでいるが、出会いの機会が少ない等の理由により結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談員による情報交換を行い、よい出会いの提供に取り組みました。

○結婚相談所開設日 豊岡…第1・3金曜日 日高…第2・4水曜日

(単位:件)

年度	地域	相談件数	紹介	見合い	成婚	成婚の内、相談員が関わった件数 (再掲)
H30	豊岡	46	353	121	4	4
	日高	27	293	84	1	0
	合計	73	646	205	5	4
R1	豊岡	42	377	112	6	4
	日高	20	382	100	4	4
	合計	62	759	212	10	8

結婚相談所登録者(令和2年3月末現在)

(単位:人)

年度	地域	全但登録者数		計	豊岡市内限定登録者数		計
		男	女		男	女	
H30	豊岡	106	36	142	15	13	28
	日高	55	47	102	29	13	42
	合計	161	83	244	44	26	70
R1	豊岡	131	57	188	7	13	20
	日高	73	58	131	12	10	22
	合計	204	115	319	19	23	42

1-9 法律相談

法律の専門家である弁護士が、市民の財産・家族などの身近な法律問題へのアドバイスをを行いました。

開設日…毎月第1火曜日

相談件数 (単位:件)

平成 30 年度	令和元年度
91	86

1-10 福祉団体活動費助成事業

豊岡市内の福祉団体へ社会参加と交流の場づくり、組織化の支援・促進を目的として共同募金配分金事業として助成を行いました。

助成先	金額(円)
豊岡市老人クラブ連合会	318,000
豊岡市身体障害者福祉協会	312,000
豊岡市手をつなぐ育成会	78,000
豊岡市婦人共励会	186,000
豊岡市民生委員児童委員連合会	624,000
豊岡市遺族会	120,000
豊岡市子ども会連絡協議会	130,440

1-11 子ども福祉委員

子どもたちが自分の住む地域やそこに暮らす人の生活や地域活動に関心を持ち、自分に何ができるかを考え、地域内の活動に参加するなど、子どもたちの体験活動を展開し、郷土愛の醸成と豊かなまちづくりを進めることを目的として小学校の児童に子ども福祉委員を任命しました。

(単位:人)

豊岡	新田	竹野	竹野南	中竹野	合橋	合計
12	22	18	12	23	5	92

1-12 地域応援事業

世代間交流、地域で支援を必要とする方を支える活動など行政区における先駆的な活動や、障がい者団体や介護者の会などセルフヘルプグループが行う交流、仲間づくりを目的とする活動に3万円を上限として助成を行い、地域における助け合い・支え合い活動の推進を図りました。

助成件数…6件

1-13 子育てサークル活動支援

地域の子育てサークルが安定的に活動ができるよう、年間2万円を上限とした活動助成を実施しました。また、子育て支援ボランティアのマッチング等により活動のサポートを行いました。

助成件数…9件

1-14 障がい者(児)の集える場づくり

障がい者(児)の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり等を目的として、気軽に集える居場所づくりを行いました。企画・運営、実施までの準備等に関して、地域住民や学生の主体性を引き出しながら、障がい者(児)の居場所として定着化を進めました。

地域	開催日	場所	参加者(人)
豊岡 (北中校区)	6月30日	五荘地区コミュニティセンター	11
	10月20日		12
	12月22日	豊岡健康福祉センター	15
	2月16日		18
豊岡 (南中校区)	7月7日	豊岡健康福祉センター	16
	9月29日		14
	11月24日		13
城崎	6月15日	城崎健康福祉センター	32
	8月20日		46
	10月26日		25
日高	6月15日	日高健康福祉センター	27
	8月24日		33
	10月19日		25
出石	5月18日	出石健康福祉センター	59
	7月13日		70
	9月28日		59
但東	7月13日	但東健康福祉センター	22
	9月28日		28
	11月9日		19

1-15 障がい者(児)クリスマス会

障がいのある当事者、障害者通所施設職員、学生ボランティア等による実行委員会において企画・運営を行い、クリスマス会イベントを通じて相互理解と交流を深めました。

地域	開催日	場所	参加者(人)
豊岡	12月14日	じばさん TAJIMA	137
城崎	12月5日	城崎健康福祉センター	32
竹野	12月14日	竹野健康福祉センター	40
日高	12月8日	日高健康福祉センター	20
出石	11月16日	出石健康福祉センター	92
但東	12月14日	但東健康福祉センター	31

2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習

2-1 ボランティア登録数(令和2年3月末現在)

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
グループ数	H30	40	18	15	19	54	12	158
	R1	40	18	7	20	63	8	156
加入者数	H30	1,063	227	367	148	474	346	2,625
	R1	1,096	227	198	297	497	246	2,561
個人登録者	H30	295	38	8	5	6	80	432
	R1	305	42	8	5	10	80	450

2-2 コーディネート件数

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
ボランティア活動の相談・問い合わせ	H30	302	85	412	357	86	76	1,318
	R1	282	67	16	81	150	45	641
コーディネート件数	H30	467	79	351	355	121	148	1,521
	R1	274	60	306	33	118	318	1,088

2-3 児童・生徒のボランティア活動推進事業

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、福祉への理解と関心を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成を行いました。

助成先…45校

2-4 ボランティア体験教室

ボランティアグループや関係機関と協働し、福祉を身近な事として学べる機会として、小中学生を対象に、幅広い体験教室を開催し、参加者の福祉・ボランティアへの関わりの第一歩としました。

□内容…高齢者施設、子育て、給食サービス等

□延べ参加人数…68人

2-5 福祉学習

障がいのある当事者やボランティアグループ等と協働し、小・中・高等学校の福祉学習のサポートを行いました。体験学習や当事者の講話を聞くことを通じて、児童・生徒の障がいへの理解や思いやりの心を育む働きかけを行いました。

□内容…車いす体験、手話学習、アイマスク体験、点字学習、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座等

□延べ参加人数…1,794 人

◇ボランティア・市民活動支援センター、福祉学習部門の評価

個人ボランティアでは給食サービスの調理や障がい者の集える場づくり等でボランティア同士の声掛けによって新規で活動をされる方があった一方で、ボランティアグループでは竹野、但東において高齢化等により活動を止められたグループがあり登録数が減少しました。

福祉学習では、地域の当事者をゲストティーチャーとして招き、日頃の生活の様子等を聞きながら学習も行うことができ、児童がより福祉を身近で感じられる機会となりました。

3. 在宅福祉サービス

3-1 給食サービス事業(食の自立支援事業)

ひとり暮らし・高齢者世帯などに、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた弁当を作り、お届けしました。

	年度	竹野	但東	合計
実施日数(日)	平成 30 年度	144	150	294
	令和元年度	141	148	289
延利用者(人)	平成 30 年度	3,782	2,847	6,629
	令和元年度	3,740	3,604	7,344

3-2 福祉用具貸与事業

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を一時的に貸し出し、自立生活の支援を行いました。

貸与品目…車いす、電動ベッド、松葉杖、歩行補助杖、歩行器、シャワーチェア、介護テーブル等

貸出件数 (単位:件)

年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
H30	86	26	54	96	85	46	393
R1	76	15	9	91	93	45	329

3-3 家族介護支援事業

在宅の介護者に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する機会の提供や、心身のリフレッシュを図るために日帰り旅行や食事会を行いました。

	年度	城崎	竹野	出石	但東	合計
開催回数(回)	H30	6	6	6	4	22
	R1	6	3	5	4	18
延参加者(人)	H30	25	18	18	27	88
	R1	21	7	10	26	64

3-4 生きがい活動支援通所事業

高齢者の方の認知症や介護予防の取組みとして、仲間づくりや交流の場としての役割を果たしました。また、ゲームや頭の体操などの様々なレクリエーションや、作品づくりをする事で介護予防の効果もありました。

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	合計
開催回数(回)	H30	44	24	23	12	144	247
	R1	35	23	24	12	144	238
延利用者数(人)	H30	104	227	251	69	1,519	2,170
	R1	61	206	251	39	1,246	1,803

3-5 最高齢者・最高齢夫婦祝福事業

豊岡市内の最高齢者・最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間に祝金(各1万円)を贈呈しました。

3-6 新100歳祝福事業

豊岡市内の新たに100歳を迎えられた方を対象に9月の高齢者保健福祉月間に祝金(各1万円)を29名の方に贈呈しました。

4. 法人運営

4-1 理事会

回数	開催日	出席理事数	協議事項
1	4月25日	11人 監事2人	報告事項10件 第1号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 第2号議案 事務局規程の一部改正について 第3号議案 職員就業規則の一部改正について 第4号議案 嘱託・臨時職員就業規則の一部改正について 第5号議案 非常勤職員就業規則の一部改正について 第6号議案 非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について 第7号議案 健康情報等の取扱規程の制定について
2	6月6日	10人 監事2人	報告事項3件 第8号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第9号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会決算について 第10号議案 評議員の退任について 第11号議案 評議員の推薦について

			第 12 号議案 豊岡市社会福祉協議会職員6月賞与について 第 13 号議案 令和元年度第 1 回豊岡市社会福祉協議会定時評議員会の開催について 第 14 号議案 第8期理事候補者について 第 15 号議案 第9期監事候補者について
3	6月 21 日	13 人 監事1人	報告事項1件 第 16 号議案 理事長・副理事長の互選について 第 17 号議案 苦情解決の第三者委員の選任について 第 18 号議案 介護保険事業積立金の取り崩しについて 第 19 号議案 功労者の表彰について
4	7月 25 日	11 人 監事1人	報告事項4件 第 20 号議案 令和元年度共同募金(令和2年度事業費)「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会充当計画について
5	8月 22 日	11 人 監事2人	報告事項5件 第 21 号議案 非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について
6	10月 24 日	13 人 監事2人	報告事項4件 第 22 号議案 豊岡市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
7	11月 28 日	12 人 監事2人	報告事項7件 第 23 号議案 豊岡市社会福祉協議会職員 12 月賞与について 第 24 号議案 令和元年度歳末たすけあい運動配分について
8	12月 18 日	12 人 監事2人	報告事項6件 第 25 号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡ヘルパーステーション運営規程(障害者総合支援事業)等の一部改正について 第 26 号議案 豊岡市社会福祉協議会日高八代デイサービスセンター運営規程を廃止する規程について 第 27 号議案 豊岡市社会福祉協議会日高西ヘルパーステーションの運営規程等を廃止する規程について 第 28 号議案 令和元年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について 第 29 号議案 令和元年度第2回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について

9	2月 27 日	11 人 監事2人	報告事項7件 第 30 号議案 評議員の退任について 第 31 号議案 評議員の推薦について 第 32 号議案 豊岡市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 第 33 号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託・臨時職員就業規則の一部改正について 第 34 号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について 第 35 号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について 第 36 号議案 豊岡市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第 37 号議案 豊岡市社会福祉協議会慶弔見舞規程の一部改正について
10	3月 18 日	10 人 監事2人	報告事項4件 第 38 号議案 豊岡市社会福祉協議会中長期経営計画案について 第 39 号議案 令和元年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について 第 40 号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第 41 号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について 第 42 号議案 令和元年度第3回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について

4-2 評議員会

回数	開催日	出席評議員数	協議事項
1	6月 21 日	14 人	第1号議案 平成 30 年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第2号議案 平成 30 年度豊岡市社会福祉協議会決算について 第3号議案 第8期理事の選任について 第4号議案 第8期監事の選任について
2	12月 26 日	18 人	報告事項5件 第5号議案 令和元年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について

3	3月 26 日	11 人	第6号議案 欠員による理事の選任について 第7号議案 豊岡市社会福祉協議会中長期経営計画案について 第8号議案 令和元年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について 第9号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第10号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について
---	---------	------	--

4-3 正副理事長会議

開催回数…11 回

4-4 部会・委員会

地域福祉活動を推進する中核的な組織として、社会情勢の変化に迅速に対応できる組織づくりに向けて、各部会・委員会を中心にマネジメント機能の強化、住民参画による組織運営に取り組みました。

部会・委員会	開催日	協議事項
経営戦略部会	6月4日	・平成 30 年度豊岡市社会福祉協議会事業報告書案について ・平成 30 年度豊岡市社会福祉協議会決算書案について
	7月 23 日	・社会福祉団体への助成(共同募金配分金事業)の見直しについて ・中長期経営計画について
	9月3日	・社会福祉団体への助成(共同募金配分金事業)の見直しについて ・中長期経営計画の素案について(介護保険事業)
	10 月 8 日	・中長期経営計画の素案について(介護保険事業、法人運営、地域福祉部門)
	11 月 26 日	・中長期経営計画の素案について(介護保険事業、法人運営、地域福祉部門) ・日高、日高西ヘルパーステーションの統合について
	1月 22 日	・中長期経営計画の素案について
	3月3日	・中長期経営計画案について ・令和元年度第2次補正予算案について ・令和2年度事業計画案について ・令和2年度当初予算案について
地域福祉部会	8月6日	・困りごとを抱えた「一人」を支える地域づくりに向けて
	11 月 18 日	・地域課題の整理及び解決方法の検討

	3月12日	・地域課題の整理について
在宅福祉部会	7月31日	・日高八代デイサービスセンター統廃合について
	11月12日	・中長期経営計画について ・日高、日高西ヘルパーステーションについて
	3月11日	・中長期経営計画について
善意銀行 運営委員会	11月5日	・令和元年度地域活動支援センター施設整備助成について ・災害時障がい者用支援用バンダナの作成について
	3月16日	・令和2年度善意銀行運営事業計画案、予算案について ・災害時障がい者用支援用バンダナについて

4-5 監査会

開催日	内容
5月29日	・平成30年度豊岡市社会福祉協議会事業報告・決算 ・平成30年度豊岡市共同募金員会事業報告・決算
11月15日	・令和元年度豊岡市社会福祉協議会上半期事業報告・収支状況報告

4-6 評議員選任・解任委員会

開催日	内容
6月11日	・評議員の退任について 5名 ・評議員の選任について 5名
3月6日	・評議員の退任について 3名 ・評議員の選任について 3名

4-7 社協会費

一般会費(一世帯年額 1,200 円)

年度	世帯数	会費納入額	納入世帯数	前年度対比
平成30年度	33,178 世帯	28,521,900 円	23,703 世帯	△230,180 円
令和元年度	33,274 世帯	28,396,800 円	23,618 世帯	△125,100 円

賛助・施設会費(年額 2,000 円以上)

年度	賛 助 会 費		施 設 会 費		一般会費との 合計金額	前年度対比
	件数	金 額	件数	金 額		
平成30年度	544	2,327,000 円	23	73,000 円	30,921,900 円	△593,180 円
令和元年度	430	1,888,800 円	23	72,000 円	30,357,600 円	△564,300 円

4-8 苦情受付

苦情受付件数 25 件

【苦情申出人の属性区分】

サービス利用者	5件
サービス利用者家族	12 件
区長	3件
民生委員	1 件
一般住民	3件
ボランティア	1件

【苦情の事業区分】

法人運営	8件
ケアプランセンター	3件
ヘルパーステーション	7件
デイサービスセンター	3件
ぐるらん	1 件
地域包括支援センター	2件
総合相談・生活支援センター	1件

【苦情の内容区分】

	件数	終結
サービス・ケアの内容に関すること	7件	7件
職員の態度・対応に関すること	10 件	10 件
制度に関すること	1件	1件
社協会費に関すること	1件	1件
共同募金に関すること	1 件	1 件
福祉委員に関すること	1 件	1 件
結婚相談に関すること	1 件	1 件
情報の確認不足に関すること	1件	1件
運転・駐車方法に関すること	2件	2件
その他	25 件	25 件

【第三者委員会開催状況】

開催日…9月 12 日

内容…平成 30 年度苦情相談受付状況、苦情解決の方法について

5. 介護保険・障害者サービス

5-1 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、その心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。

延利用者数

(単位:人)

	平成 30 年度	令和元年度	比較
豊岡	1,633	1,618	△15
豊岡北	1,768	1,463	△305
日高	2,325	2,085	△240
出石・但東	2,500	2,412	△88
合計	8,226	7,578	△648

5-2 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

平成 31 年4月、職員体制の強化、効率的なサービス提供を図るために、城崎ヘルパーステーションを竹野ヘルパーステーションへ、但東ヘルパーステーションを出石ヘルパーステーションへ統合しました。令和2年3月には日高西ヘルパーステーションを日高ヘルパーステーションへ統合を行いました。

延利用者数

(単位:人)

	平成 30 年度		令和元年度	比較
豊岡	15,371	豊岡	14,968	△403
城崎	4,139	竹野	10,456	△1,040
竹野	7,357			
日高	15,635	日高	15,607	△28
日高西	8,210	日高西	6,368	△1,842
出石	11,717	出石	19,356	△3,030
但東	10,669			
合計	73,098	合計	66,755	△6,343

5-3訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

延利用者数(単位:人)

平成 30 年度			令和元年度			比較		
介護	障がい	合計	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計
1,472	139	1,611	1,236	215	1,451	△236	76	△160

5-4通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

延利用者数

(単位:人)

	平成 30 年度			令和元年度			比較		
	介護	障害	合計	介護	障害	合計	介護	障害	合計
豊岡港	5,571	0	5,571	5,425	0	5,425	△146	0	△146
豊岡西	5,273	216	5,489	5,128	161	5,289	△145	△55	△200
竹野	6,069	69	6,138	6,476	64	6,540	407	△5	402
竹野南	1,928	0	1,928	2,257	0	2,257	329	0	329
日高西	7,429	8	7,437	7,353	9	7,362	△76	1	△75
日高東	6,395	49	6,444	5,834	49	5,883	△561	0	△561
日高八代	1,480	0	1,480	1,132	0	1,132	△348	0	△348
但東	5,542	0	5,542	5,745	0	5,745	203	0	203
合計	39,687	342	40,029	39,350	283	39,633	△337	△59	△396

5-5地域福祉生活支援拠点ぐるらん(小規模多機能型居宅介護事業)

日中の通い、夜間の泊り、24 時間対応の訪問を組み合わせ、一人ひとりのニーズ・生活に合わせたオーダーメイドの支援に取り組みました。

年間実登録者数 26 人 月平均 20 人

(単位:回)

年度	訪問回数	通所回数	宿泊回数
平成 30 年度	2,896	3,160	162
令和元年度	1,902	3,174	259

5-6 障害者サービス事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある身体障がい、知的障がい、精神障がいがある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や移動介助を提供しました。

居宅介護 延利用者数

(単位:人)

	平成 30 年度		令和元年度	比較
豊岡	1,876	豊岡	1,990	114
城崎	777	竹野	1,448	30
竹野	641			
日高	776	日高	832	56
日高西	707	日高西	776	69
出石	584	出石	2,247	402
但東	1,261			
合計	6,622	合計	7,293	671

同行援護 延利用者数

(単位:人)

	平成 30 年度		令和元年度	比較
豊岡	73	豊岡	81	8
城崎	286	竹野	239	△93
竹野	46			
日高	0	日高	0	0
日高西	0	日高西	0	0
出石	149	出石	155	6
但東	0			
合計	554	合計	475	△79

移動支援 延利用者数

(単位:人)

	平成 30 年度		令和元年度	比較
豊岡	60	豊岡	49	△11
城崎	0	竹野	43	1
竹野	42			
日高	25	日高	29	4
日高西	0	日高西	0	0
出石	34	出石	39	5
但東	0			
合計	161	合計	160	△1

5-7 産前・産後サポーター派遣事業

妊娠、出産及び子育てに関する悩みや不安を抱える方や、家族等から産後の支援を受けられない方に、家事援助及び相談を行い、身体の負担の軽減と心身の安定を図り、安心して子育てができるように援助を行いました。

延利用者数

(単位:人)

	豊岡	城崎	竹野	日高	日高西	出石	但東	合計
平成 30 年度	261	0	0	0	0	17	39	317
	豊岡	竹野		日高	日高西	出石		合計
令和元年度	381	6		93	0	54		534